

## 2024/25 ショートトラック国際競技会派遣選手選考基準

### 【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

### 【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

### 【出場に関する制限】

1. 国際スケート連盟(ISU)によって以下の通り制限される。
  - ・ ISU およびその他の主催団体による各国際競技会への日本の出場可能人数
  - ・ ISU による年齢制限(ISU 一般規程 第108条2項)
  - ・ ISU による参加標準記録
2. 日本スケート連盟による派遣標準記録(別紙)を設定し、条件を満たした選手を派遣対象とする。

### 【特記事項】

- ・ ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 個人種目へのエントリーは、原則として対象競技会における各距離の成績に基づいて、派遣選手の上位から決定する。ただし、ISU ショートトラックワールドツアー(以下、「ワールドツアー」という)および ISU ジュニアワールドカップショートトラック(以下、「ジュニアワールドカップ」という)については、選手の適性を考慮して当該年度の JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び当該大会の日本代表選手団ヘッドコーチ(以下、この3名を「エントリー検討メンバー」という)の協議により、編成方針を踏まえた総合的な検討によって決定する。エントリー検討メンバー内で意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。
- ・ チーム種目へのエントリーは、日本代表選手団ヘッドコーチを中心に、当該競技会に派遣されたコーチングスタッフによって、編成方針を踏まえた総合的な検討によって決定する。ここで意見の一致に至らなかった場合は、エントリー検討メンバーの協議により決定する。エントリー検討メンバー内で意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。
- ・ 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討し、選考委員会又は理事会で補欠登録をされた選手と変更することができる。

## 1. ワールドツアー第1戦～第2戦

### 【開催場所、期間】

第1戦: カナダ(モントリオール)、2024年10月25日～10月27日

第2戦: アメリカ(ソルトレークシティ)、2024年11月1日～11月3日

### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

### 【派遣可能人数】

男女最大各5名(合計最大10名)

### 【枠数】

男子: 500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000mリレー(1)

女子: 500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合: ミックスチーム2000mリレー(1)

### 【選考基準】

対象選手:

- ・ 2007年6月30日以前に生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ・ 第35回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2024年9月21日～9月22日)

男女最大各5名の正選手及び最大各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、2.5周または1000mのいずれかで派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。ただし、以下の(2)となった者が、上記タイムトライアルに参加したものの派遣標準記録をクリアしていなかった場合は、対象競技会の最終日終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、基準を満たした場合は選考対象に含める。
- (2) 対象競技会において、各距離で第1位の者を選考する。
- (3) 次に、別表に基づいて対象競技会における各距離の順位をポイント化し、500mまたは1500mのいずれかで大きい方のポイントを2倍したものと1000mのポイントを合計し、ランキング表を作成する。(2)に加えて、ランキング上位者から男女各5名になるまで選考する。
- (4) 上記(2)および(3)で選考された者を除き、ランキングの上位から男女最大各3名を補欠として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

### 【特記事項】

- ・ ワールドツアーおよびジュニアワールドカップの双方に選考される可能性がある選手は、ワールドツアー第1戦～第2戦および四大陸ショートトラック選手権と、ジュニアワールドカップ第1戦～第2戦のいずれかを選択するものとする。
- ・ 上記(1)～(3)で選考された選手が、FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2025/トリノ)(以下、「WUG」という)への参加資格を持ち、参加を希望した場合は、男女最大各3名をWUG日本代表選手として内

定する。参加希望者が4名以上となったときは、先順位で選考された者を優先する。

## 2. 四大陸ショートトラック選手権大会

### 【開催場所、期間】

四大陸ショートトラック選手権大会：アメリカ（ソルトレークシティ）、2024年11月8日～11月10日

### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

### 【派遣可能人数】

男女最大各5名（合計最大10名）

### 【枠数】

男子：500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000mリレー(1)

女子：500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合：ミックスチーム2000mリレー(1)

### 【選考基準】

対象選手：

- ・2007年6月30日以前に生まれた者（ISU一般規程第108条2項）とする。

対象競技会：

- ・第35回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2024年9月21日～22日）

男女最大各5名の正選手及び最大各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、2.5周または1000mのいずれかで派遣標準記録（別紙）以内で滑走した選手を選考対象とする。ただし、以下の(2)となった者が、上記タイムトライアルに参加したものの派遣標準記録をクリアしていなかった場合は、対象競技会の最終日終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、基準を満たした場合は選考対象に含める。
- (2) 対象競技会において、各距離で第1位の者を選考する。
- (3) 次に、別表に基づいて対象競技会における各距離の順位をポイント化し、500mまたは1500mのいずれかで大きい方のポイントを2倍したものと1000mのポイントを合計し、ランキング表を作成する。(2)に加えて、ランキング上位者から男女各5名になるまで選考する。
- (4) 上記(2)および(3)で選考された者を除き、ランキングの上位から男女最大各3名を補欠として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

### 【特記事項】

- ・ワールドツアー第1戦～第2戦への派遣を辞退した選手は、本大会の選考も辞退したものとする。

### 3. ワールドツアー第3戦～第4戦

#### 【開催場所、期間】

第3戦: 中国(北京)、2024年12月6日～12月8日

第4戦: 韓国(ソウル)、2024年12月13日～12月15日

#### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

#### 【派遣可能人数】

男女最大各5名(合計最大10名)

#### 【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

#### 【選考基準】

対象選手:

- ・2007年6月30日以前に生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ・第35回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2024年9月21日～22日)

男女最大各5名の正選手及び最大各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、2.5周または1000mのいずれかで派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。ただし、以下の(2)となった者が、上記タイムトライアルに参加したものの派遣標準記録をクリアしていなかった場合は、対象競技会の最終日終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、基準を満たした場合は選考対象に含める。
- (2) 対象競技会において、各距離で第1位の者を選考する。
- (3) 次に、別表に基づいて対象競技会における各距離の順位をポイント化し、500m または 1500m のいずれかで大きい方のポイントを2倍したものと1000mのポイントを合計し、ランキング表を作成する。(2)に加えて、ランキング上位者から男女各4名になるまで選考する。
- (4) 次に、(3)においてランキングから選考された者の次々点のポイントを持つ者男女各1名を選考する。この者が(2)で選考された者と同じの場合は、さらにその次点の者を選考する。その次点者も(2)で選考された者と同じの場合は、順次繰り下げて、男女各1名を選考する。
- (5) 上記(2)～(4)で選考された者を除き、ランキングの上位者から男女最大各3名を補欠として選考する。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

#### 【特記事項】

- ・ワールドツアーおよびジュニアワールドカップの双方に選考される可能性がある選手で、ジュニアワールドカップ第1戦～第2戦を選択した者は、本大会には選考されないものとする。

#### 4. 第9回アジア冬季競技大会(2025/ハルビン)

##### 【開催場所、期間】

中国(ハルビン)、2025年2月7日～2月14日(ショートトラック競技は2025年2月7日～2月9日)

##### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

##### 【派遣可能人数】

男女各6名(合計12名)

##### 【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

##### 【選考基準】

対象選手:

- ・2007年6月30日以前に生まれた者とする。

対象競技会:

- ・第35回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2024年9月21日～22日)

男女各6名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会において、各距離で第1位の者を選考する。
- (2) 次に、別表に基づいて対象競技会における各距離の順位をポイント化し、500m または 1500m のいずれかで大きい方のポイントを2倍したものと1000mのポイントを合計し、ランキング表を作成する。(1)を除き、ランキング上位者から男女各6名になるまで選考する。
- (3) (1)および(2)を除き、ランキング上位から男女各3名を補欠として選考する。
- (4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

##### 【特記事項】

- ・本大会に選考され、出場する選手は、ワールドツアー第5戦～第6戦には選考されない。
- ・個人種目における各距離の出場枠数は、OCAの大会要項によって変更の可能性がある。

#### 5. FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ(2025/トリノ)

##### 【開催場所、期間】

イタリア(トリノ)、2025年1月13日～1月23日(ショートトラック競技は2025年1月21日～23日)

##### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

##### 【派遣可能人数】

男女各5名(合計10名)

##### 【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム 2000mリレー(1)

#### 【選考基準】

対象選手:

- ・ 現在、大学又はそれに準ずる教育機関(短大、大学院等を含む)に在籍している者、あるいは 2024 年 1 月 1 日以降に大学又はそれに準ずる機関を卒業した者で、2000 年 1 月 1 日から 2007 年 12 月 31 日の間に生まれた者とする。

対象競技会:

- ・ 第 35 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2024 年 9 月 21 日～22 日)
- ・ FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2025/トリノ) ショートトラックスピードスケート日本代表選手選考競技会(長野県南佐久郡南牧村、2024 年 10 月 12 日～10 月 13 日)

男女各 5 名の正選手及び各 3 名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象選手の中で、ワールドツアー第 1 戦～第 2 戦の日本代表となった者(補欠は含まない)のうち、FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2025/トリノ)(以下「WUG」という)へ参加を希望する場合は、男女最大各 3 名までを WUG 日本代表選手として内定する(参加希望者が 4 名以上となったときは、先順位で選考された者を優先する。)。当該選手は FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2025/トリノ)ショートトラックスピードスケート日本代表選手選考競技会(以下「WUG 選考競技会」という)への参加を免除する。
- (2) 次に、別表に基づいて WUG 選考競技会における各距離の順位をポイント化し、500m または 1500m のいずれかで大きい方のポイントを 2 倍したものと 1000m のポイントを合計し、ランキング表を作成する。
- (3) WUG 選考競技会における各距離で第 1 位の者を選考する。ただし、(1)で選考された者を合わせて男女各 5 名を超える場合には、各距離第 1 位の者の中で、(2)のランキング上位者から男女各 5 名になるまで選考する。
- (4) ここまでで派遣可能人数に満たない場合は、(1)および(3)に加えて、(2)のランキング上位者から男女各 5 名になるまで選考する。
- (5) (1)～(4)で選考された者を除き、ランキング上位から男女各 3 名を補欠として選考する。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

## 6. ワールドツアー第 5 戦～第 6 戦

#### 【開催場所、期間】

第 5 戦:オランダ(ティルブルフ)、2025 年 2 月 7 日～2 月 9 日

第 6 戦:イタリア(ミラノ)、2025 年 2 月 14 日～2 月 16 日

#### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

#### 【派遣可能人数】

男女最大各 5 名(合計最大 10 名)

### 【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム 2000mリレー(1)

### 【選考基準】

対象選手:

- ・ 2007年6月30日以前に生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ・ 第47回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2025年1月11日～1月12日)

男女最大各5名の正選手及び最大各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、2.5周または1000mのいずれかで派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。ただし、以下の(3)となった者が、上記タイムトライアルに参加したものの派遣標準記録をクリアしていなかった場合は、対象競技会の最終日終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、基準を満たした場合は選考対象に含める。
- (2) (1)のうち、第9回アジア冬季競技大会(2025/ハルビン)の日本代表選手は選考対象から除外する。
- (3) 対象競技会における各距離で、(2)で除外された選手以外の中での最上位の者を選考する。
- (4) 次に、別表に基づいて対象競技会における各距離の順位をポイント化し、500m または 1500m のいずれかで大きい方のポイントを2倍したものと1000mのポイントを合計し、ランキング表を作成する。(3)に加えて、ランキング上位者から男女各4名になるまで選考する。
- (5) 次に、(3)および(4)で選考された者を除き、各距離で10位以内の者の中から、リレー種目での活躍が期待できる者男女各1名をJOCハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長およびシニア強化責任者の協議によって選考する。
- (6) 上記(3)～(5)で選考された者を除き、(4)で用いたランキングの上位から男女最大各3名を補欠として選考する。
- (7) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

### 【特記事項】

- ・ 世界ジュニアショートトラック選手権の日本代表選手は、本大会には選考しないものとする。

## 7. 世界ショートトラック選手権大会

### 【開催場所、期間】

中国(北京)、2025年3月14日～3月16日

### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

### 【派遣可能人数】

男女各3または5名(合計最大10名)

※ISU より、後日通知される内容による。

※リレー出場権はワールドツアーでの最終ランキングにより決定される(この出場権を得た場合、男女それぞれ最大 5 名の派遣が可能となる)。

#### 【枠数】

男子:500m(2)、1000m(3)、1500m(2)、5000m リレー(1)※

女子:500m(2)、1000m(2)、1500m(2)、3000m リレー(1)※

男女混合:ミックスチーム 2000m リレー(1)※

※リレー種目の出場権は、ワールドツアーでの最終ランキングにより決定される。

#### 【選考基準】

対象選手:

- ・ 2007 年 6 月 30 日以前に生まれた者とする。

対象競技会:

- ・ 第 47 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2025 年 1 月 11 日～1 月 12 日)

男女最大各 5 名の正選手及び各 3 名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、2.5 周または 1000m のいずれかで当該年度の派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。ただし、以下の(3)となった者が、上記タイムトライアルに参加したものの派遣標準記録をクリアしていなかった場合は、対象競技会の最終日の終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、基準を満たした場合は選考対象に含める。
- (2) 対象競技会終了時点ではリレー種目の出場権の有無が決定していないため、まずエントリー枠が確定している男女各 3 名を選考し、男女リレー種目の出場権獲得状況に従って、(4)および(5)の方法で残りの正選手及び補欠選手を選考する。
- (3) エントリー枠が確定している男女各 3 名について、まず対象競技会の各距離で第 1 位の者を選考する。
- (4) (3)でエントリー枠の上限人数を満たさない場合は、別表に基づいて対象競技会における各距離の順位をポイント化し、500m または 1500m のいずれかで大きい方のポイントを 2 倍したものと 1000m のポイントを合計し、ランキング表を作成する。(3)に加えて、ランキング上位者から男女各 3 名になるまで選考する。
- (5) 男子又は女子リレーの出場権が獲得できた場合、上記(3)および(4)で選考された 3 名を除き、(4)で用いたランキングの上位者男女各 1 名を選考する。続いて、各距離で 10 位以内の者の中から、リレー種目での活躍が期待できる者男女各 1 名を JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長およびシニア強化責任者の協議によって選考する。
- (6) 上記(3)～(5)で選考された者を除き、(4)で用いたランキング上位者から男女各 3 名を補欠として選考する。
- (7) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

#### 【特記事項】

- ・ 世界ジュニアショートトラック選手権の日本代表選手は、本大会には選考しないものとする。



## 8. ジュニアワールドカップ第1戦～第2戦

### 【開催場所、期間】

第1戦:イタリア(ボルミオ)、2024年11月8日～11月10日

第2戦:イタリア(ボルミオ)、2024年11月14日～11月16日

### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

### 【派遣可能人数】

男女最大各4名(合計最大8名)

### 【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

※第1戦は1000mが2回、第2戦は500mが2回実施される

### 【選考基準】

対象選手:

- ・2005年7月1日から2009年6月30日までに生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ・第35回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2024年9月21日～9月22日)

男女最大各4名の正選手及び最大各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会において、対象年齢の選手による距離別順位リストを作成する。
- (2) (1)のリストにおいて、各距離で最上位の者を選考する。
- (3) 次に、別表に基づいて対象競技会における各距離の順位をポイント化し、500m または 1500m のいずれかで大きい方のポイントを2倍したものと1000mのポイントを合計し、ランキング表を作成する。(2)に加えて、ランキング上位者から男女各4名になるまで選考する。
- (4) 上記(2)および(3)で選考された者を除き、ランキング上位から男女最大各3名を補欠として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

### 【特記事項】

- ・ワールドツアーおよびジュニアワールドカップの双方に選考される可能性がある選手は、ワールドツアー第1戦～第2戦および四大陸ショートトラック選手権と、ジュニアワールドカップ第1戦～第2戦のいずれかを選択するものとする。

## 9. ジュニアワールドカップ第3戦

### 【開催場所、期間】

第3戦:カナダ(ケベック)、2025年2月21日～2月23日

### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

### 【派遣可能人数】

男女最大各 4 名(合計最大 8 名)

### 【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000m リレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000m リレー(1)

男女混合:ミックスチーム 2000m リレー(1)

※第 3 戦は 1500m が 2 回実施される

### 【選考基準】

対象選手:

- ・ 2005 年 7 月 1 日から 2009 年 6 月 30 日までに生まれた者(ISU 一般規程第 108 条 2 項)とする。

対象競技会:

- ・ 2024/25 ジュニアワールドカップ第 1 戦(イタリア・ボルミオ、2024 年 11 月 8 日～2024 年 11 月 10 日)
- ・ 2024/25 ジュニアワールドカップ第 2 戦(イタリア・ボルミオ、2024 年 11 月 14 日～2024 年 11 月 16 日)
- ・ 第 44 回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会(愛知県名古屋市、2024 年 12 月 28 日～12 月 29 日)

男女最大各 4 名の正選手及び最大各 3 名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象選手の中で、ジュニアワールドカップ第 1 戦～第 2 戦のいずれかの個人種目で優勝した者は、ジュニアワールドカップ第 3 戦の日本代表選手として内定する。当該選手は第 44 回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会(以下、「全日本ジュニア選手権」という)への参加を免除する。
- (2) 全日本ジュニア選手権において、各距離で第 1 位の者を選考する。(1)で内定した選手が複数の場合は、別表に基づいて全日本ジュニア選手権における各距離の順位をポイント化し、500m または 1500m のいずれかで大きい方のポイントを 2 倍したものと 1000m のポイントを合計し、ランキング表を作成する。  
(1)に加えてランキング上位者から男女各 4 名になるまで選考する。
- (3) ここまでで派遣可能人数を満たさない場合は、(1)および(2)に加えて、ランキング上位者から男女各 4 名までを選考する。
- (4) 上記(1)～(3)で選考された者を除き、ランキング上位から男女最大各 3 名を補欠として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

### 【特記事項】

- ・ 本大会の日本代表選手として選考された者は、ワールドツアー第 5 戦～第 6 戦および世界ショートトラック選手権には選考されないものとする。
- ・ 上記(1)の基準によって選考された選手が全日本ジュニア選手権に出場した場合は、当該選手はジュニアワールドカップ第 3 戦日本代表としての権利を放棄したものとし、これによって空いた枠については、上記洗浄基準の手順に従った優先順で選考する。なお、ジュニアワールドカップ第 3 戦日本代表としての権利を放棄した当該選手が、上記選考基準を再び満たしたとしても、当該大会の日本代表には選考されないものとする。

## 10.世界ジュニアショートトラック選手権大会

### 【開催場所、期間】

カナダ(カルガリー)、2025年2月27日～3月2日

### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

### 【派遣可能人数】

男女最大各4名(合計最大8名)

※ISUより、後日通知される内容による。

### 【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

### 【選考基準】

対象選手:

- ・2005年7月1日から2009年6月30日までに生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ・2024/25ジュニアワールドカップ第1戦(イタリア・ボルミオ、2024年11月8日～2024年11月10日)
- ・2024/25ジュニアワールドカップ第2戦(イタリア・ボルミオ、2024年11月14日～2024年11月16日)
- ・第44回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会(愛知県名古屋市、2024年12月28日～12月29日)

男女最大各4名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象選手の中で、ジュニアワールドカップ第1戦～第2戦のいずれかの個人種目で優勝した者は、世界ジュニア選手権の日本代表選手として内定する。当該選手は第44回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会(以下、「全日本ジュニア選手権」という)への参加を免除する。
- (2) 全日本ジュニア選手権において、各距離で第1位の者を選考する。(1)で内定した選手が複数の場合は、別表に基づいて全日本ジュニア選手権における各距離の順位をポイント化し、500mまたは1500mのいずれかで大きい方のポイントを2倍したものと1000mのポイントを合計し、ランキング表を作成する。(1)に加えてランキング上位者から男女各4名になるまで選考する。
- (3) ここまでで派遣可能人数を満たさない場合は、(1)および(2)に加えて、ランキング上位者から男女各4名までを選考する。
- (4) 上記(1)～(3)で選考された者を除き、ランキング上位から男女最大各3名を補欠として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

### 【特記事項】

- ・本大会の日本代表選手として選考された者は、ワールドツアー第5戦～第6戦および世界ショートトラック選手権には選考されないものとする。
- ・上記(1)の基準によって選考された選手が全日本ジュニア選手権に出場した場合は、当該選手は世界ジュニア選手権日本代表としての権利を放棄したものとし、これによって空いた枠については、上記洗浄

基準の手順に従った優先順で選考する。なお、世界ジュニア選手権日本代表としての権利を放棄した当該選手が、上記選考基準を再び満たしたとしても、当該大会の日本代表には選考されないものとする。

#### 11.2024 アジアンオープンショートトラックトロフィー (2023/09/23 選考基準発表済)

##### 【開催場所、期間】

インドネシア (ジャカルタ)、2024年8月21日～8月23日

##### 【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

##### 【派遣可能人数】

ジュニア B: 2008年7月1日～2009年6月30日に生まれた男女各2名 ※1年のみ

ジュニア C: 2009年7月1日～2011年6月30日に生まれた男女各2名

##### 【枠数】

ジュニア B(男女): 500m(2)、1000m(2)、1500m(2)、ミックスチーム 2000m リレー(1)

ジュニア C(男女): 500m(2)、777m(2)、1000m(2)、ミックスチーム 2000m リレー(1)

※ ASU の発表によって、変更の可能性がある

##### 【選考基準】

対象競技会:

- ・ 2023/2024 全日本ノービスカップショートトラックスピードスケート競技会
  - ※ 第1戦: 茨城県ひたちなか市、2023年11月18～19日
  - ※ 第2戦: 広島県広島市、2024年3月23日～24日

各カテゴリー男女最大各2名の正選手及び最大各2名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会 2 大会における 500m、1000m、1500m スーパーファイナルの各距離別順位に対して、1位 34 点、2 位 21 点、3 位 13 点、4 位 8 点、5 位 5 点、6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点を与え、全 6 距離 (2 大会×3 距離) 中得点の高い 3 距離分 (各大会の同一距離は別の距離として 2 距離と数える) の得点を合計して選考ランキングを作成する。合計得点が同点の場合は、2 大会における 500m のベストタイムが速い者を上位とする。このランキングに基づき、派遣可能人数を満たすまで、同様の方法で順位を繰り下げて選考する。
- (2) 上記(2)で選考された者を除き、(2)と同様の方法で上位から男女最大各2名を補欠として選考する。
- (3) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

##### 【特記事項】

~~→ ASU の決定により、本大会は実施されない可能性がある。~~

- ・ ASU が発表する大会要項の内容によって、上記選考基準を変更する場合がある。

2024/25 ショートトラック国際競技会派遣選手選考用順位ポイント表

(公財)日本スケート連盟  
ショートトラック強化部

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	1000	16	35	31	14
2	800	17	28	32	13
3	640	18	27	33	12
4	512	19	26	34	11
5	410	20	25	35	10
6	328	21	24	36	9
7	262	22	23	37	8
8	210	23	22	38	7
9	168	24	21	39	6
10	134	25	20	40	5
11	107	26	19	41	4
12	86	27	18	42	3
13	69	28	17	43	2
14	55	29	16	44	1
15	44	30	15	others	1

- ※ 複数の者が同順位の場合は、当該順位のポイントをそれぞれに付与する。(例:第 30 位に 3 名いる場合はそれぞれに 15 点を付与し、第 33 位には 12 点が付与される)
- ※ 最初のラウンドで PEN を科された場合は出場人数+1 の順位ポイントを付与する。
- ※ YC, RC を科された場合は当該距離のポイントは付与されない。

## 2024/25 ショートトラック国際競技会派遣標準記録

(公財)日本スケート連盟  
ショートトラック強化部

	女子	男子
2.5 周 T.T.	25.413	23.815
1000m T.T.	1:31.779	1:25.096

※ 適用対象となる国際競技会は、2024/25 シーズンの世界ショートトラック選手権大会、ワールドツアール第1戦～第6戦、四大陸ショートトラック選手権大会とする。

※ 上記派遣標準記録は、以下に示す 5 回のショートトラック強化部主催タイムトライアルで記録される必要がある。いずれかの種目で上記の標準記録以内のタイムで滑走すれば、条件を満たすものとし、2025 年 3 月 31 日まで有効とする。タイムトライアルの実施要項は、別途ショートトラック強化メーリングリストを通じて配信する。

- ・ 2024 年 9 月 15 日(日)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
- ・ 2024 年 9 月 18 日(水)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
- ・ 2024 年 9 月 19 日(木)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
- ・ 2025 年 1 月 8 日(水)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
- ・ 2025 年 1 月 9 日(木)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター

※ 過去 11 年間分のワールドカップの結果をもとに、1000m は男子は QFs、女子は Heats を 2 位以内でクリアしたタイムの中央値を外挿して 2024/25 シーズンの予測値から算出(Calgary, SLC などの高地のレース、転倒などで極端に遅かったレースは除外して計算)。2.5 周は、500m における 2.5 周通過時の記録を基に、1000m と同じ基準で予測値を算出した。